

第10回市民自治推進委員会 防災・環境部会

- ◆開催日時：平成29年8月28日（月） 18：00～
- ◆開催場所：登別市役所2階 第1委員会室
- ◆出席部会員：部会長 江口 武利
部会員 丸 博子
久保田 博史
千葉 浩樹（協働推進庁内委員会）
【総務部次長】
志水 孝暢（協働推進庁内委員会）
【総務部総務G総括主幹】
- ◆欠席部会員：副部会長 川島 芳治
部会員 遠藤 潤
和泉 薫
- ◆事務局： 笠井 康之【市民生活部市民協働G総括主幹】
笹田 恭平【市民生活部市民協働グループ】
- ◆議題：「健康」に関する取り組みについて

【事務局】

初めに防災・環境部会の皆様に報告があります。部会に所属しておりました関さんですが、一身上の都合により防災・環境を退会しましたことをお知らせいたします。

【事務局】

今回の防災・環境部会は、まず6月15日に開催されました第4回部会長・副部会長会議の概要を説明した後、部会長に引き継ぎたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

部会長・副部会長会議で情報提供した資料をお手元に配付しております。

A3横版の資料1をご覧ください。

部会長・副部会長会議までに各部会において協議され、今後、実施することとしている、健康に関する具体的な取り組みについて集約したものが一番右の“現時点での取り組み予定”欄に記載しております。

会議に出席されていた各部会の部会長、副部会長からそれぞれの部会の取組について説明がありました。

ぬくもり部会では、委員の皆さんにご協力いただき実施した、「特定健診に関するアンケート」の結果について資料2を基に説明がありました。

このアンケートは、健康を維持し、医療費の抑制を図るためには健診の受診率の向上が必要であるとの考えのもと、まずは市民自治推進委員会の委員がどの程度、健診を受診しているのか等を調査する目的で実施したもので、特定健診を受けている委員

は全体の3分の2に当たる63%という数字が出ております。

ぬくもり部会では今後、今回のアンケート結果を基に、更なる受診率の向上に向け、どのような取り組みができるか、協議していくこととしております。

防災・環境部会では、防災訓練による市民の防災意識向上ということで、各地区連で行う防災訓練の参加人数、場所、各地区連でデータを共有することにより、他の地区連の良い点を取り入れていくということと、社会教育グループのウォーキングマップがリニューアルされた後、防災・環境部会の委員で実際にコースを歩いて、避難場所を確認し、その後、各地区連に避難場所のウォーキングの実施を依頼することで、近隣の町内会の避難場所の周知徹底も併せて行います。

産業躍動部会では、健康推進グループの事業である「食育おやこ料理教室」を実施することとしており、先月の27日及び28日に登別漁港で水揚げされる水産物を使用した料理教室を開催しました。冬は1月12日及び13日に登別牛などを使用した料理教室を開催します。

また、商工労政グループの事業である「婦人センター講座」では、登別漁港産の秋サケや登別牛、のぼりべつ牛乳を使用したレシピをそれぞれ考案した中で料理教室を実施することとしており、11月中の開催を目指して協議しているところであります。

都市調和部会は、資料に記載のとおり、きらり健康ふれあいウォーキングマップのリニューアルと千代の台団地の建て替えについて話しました。

育み部会では、利用されていない公園の利活用について、公園の利用実態調査結果に基づき、あまり利用されていない公園について、利用される公園にするためにできる取り組みについて話し合っており、次回の部会では若草町にある「のびのび公園」の利活用について考えることとなっています。

まちづくり部会では、川島委員に講師を依頼し、ロコモティブシンドロームの予防に関する座談会を3箇所（鷲別公民館、市民会館、婦人センター）で開催し、続編の座談会は先月の23日と今月の20日に市民プールで開催しました。

6月17日鷲別公民館、18日市民会館で開催した座談会及び、続編として開催した先月の23日、今月の20日に市民プールで開催した座談会は、それぞれ20名程度の参加があり、大変好評でした。

その他、受動喫煙の防止等についてですが、道の受動喫煙防止条例の動きに合わせ、登別でも受動喫煙防止を進めていく必要があります、市民自治推進委員会においても逐次、情報提供していくこととしておりました。

北海道の条例案や条例制定に向けた動きをはじめ、道内の市庁舎における分煙状況、国の法改正に係る報道、また、道医師会が行う署名まで、新たな情報がありますので、皆様には資料3-1から3-6までの新聞記事を6枚お配りしております。

資料3-1は5月18日付けの記事で、道議会の「受動喫煙防止条例」の原案についての内容、資料3-2は6月13日付けの記事で、「受動喫煙防止条例」の制定に向け、道が関係団体との意見交換を開始するという内容、資料3-3は5月23日付けの記事で、道内35市庁舎の建物内禁煙の実施状況についての内容、資料3-4は

5月16日付けの記事で、たばこの受動喫煙対策を強化する「健康増進法」の改正を巡り、自民党内でも対策案に溝があるとの内容、[資料3-5](#)は6月6日付けの記事で、自民党内の溝が埋まらず、法案成立は秋の臨時国会以降に先送りされたとの内容、最後に[資料3-6](#)は6月14日付けの記事で、道医師会による、受動喫煙防止に向けた署名を実施している内容の記事がありましたので、それぞれ情報提供いたします。

次に、まちづくり部会の取り組みである、健康座談会についてです。

この[資料4](#)は、委員の皆さん全員には既に案内文を郵送させていただいておりますが、そのチラシ版として、参考までに添付しております。

これまでの部会長・副部会長会議でも話がありましたが、委員長、副委員長からは、市民自治推進委員会の取り組みを市民に知ってもらうため、年に1度くらいは広報誌で周知した方が良いのでは、という話がありましたので、市としましても現在、特集記事の掲載に向け、作業を進めているところでありますが、構成次第では各部会長等にお話しを伺うなど、ご協力を仰ぐこともあるかと思っておりますので、お願いいたしますと話しております。なお、8月号の広報誌の巻頭4ページに市民自治推進委員会の特集記事を掲載しました。

封筒の資料ですが、5月19日の市連町定期総会で情報提供しているものです。

資料の配付のみで、説明はしていませんが、その時点で市民の皆さんに情報提供したい案件を各グループから集めて提供したものなので、こちらにつきましては、時間のある時に見ていただいて、部会などでも役立てて頂ければと思います。

部会長・副部会長会議では、封筒の中にある、廃棄物処理施設の市の方針案の概略を説明しました。

今年の2月13日に西胆振広域連合で運営している「メルトタワー21」、これは室蘭市、伊達市、壮瞥町、洞爺湖町、豊浦町の2市3町で運営しているものですが、平成36年度までの稼働とし、平成37年度の供用開始を目指して、新たな施設を建て替えることに決定されました。

これにあわせて、広域連合から、登別市と白老町も一緒に広域処理をしないかという打診がありました。

登別市としては、人口やごみ処理量が減少する中であって、将来のことも踏まえて広域処理を検討する必要があるものと考え、これまで「広域に参加するのか」、それともこのまま「1市1町でクリンクルセンターを継続するのか」、「財政的負担」や「市民生活への影響」等、市民などからの意見も聞きつつ、色々と検討してきました。

その結果としては、「財政負担」として、平成29年度から平成61年度までの33年間で約13億円、年間約3,800万円の削減効果が図られるものとなりました。(資料のP11に記載してあります)

単純に財政的負担だけを考えるのであれば、広域行政の方に参加する形になるのかなと思いますが、距離延長に伴う市民生活の利便性の低下や、これまで施設の余熱を活用してきた市民ギャラリー及び研修室の使用ができなくなること、クリンクルセン

ターで働いている方々の雇用の喪失や転出等に伴う市内経済への影響が大きいものになります。

クリンクルセンターで働いている方は5～60名おり、そのうち35名の方が市内に居住しています。ここが無くなると、従業員の殆どが転勤することになってしまいます。

そうした方々のことを考えると、約6千万円以上登別市の消費が無くなってしまうことになります。

それよりも一番は55名いる企業、一つの企業ではありませんが、自治体では企業誘致など図っている部分があります。これが無くなるという事は結果として人口減少にも拍車をかけるということにもなってしまいます。

それと市としては、一時的に大きな一般財源が必要となり、資料の5ページになりますが、それぞれ年度毎の一般財源の負担額というものを試算しており、平成37年度から広域の運営が始まりますが、その前は、今クリンクルセンターを動かしているのと同時に、建設費が重複してきます。

この重複してくる部分で、平成36年に一気に9億円掛かるということです。

そうなるとこの9億円を今の市の財政で出来るのかと言われたら、財政からは破綻ですと言われ、このような部分もあって難しいのかなと思いました。

市が単独で行うとすれば、ある程度平準化を図るような施策を考えていきますが、広域なので、他の市町に合わせなくてはならないという部分があり、避けられない部分なのかなと思います。なので、財政運営の部分では厳しいのかなと思います。

よって、市民説明会での意見は殆どの方が広域への参加に反対であったことなど、総合的に検討し、現時点では見送ることとし、白老町との1市1町によるクリンクルセンターの運営を継続することとしました。

最後のページになりますが、下から2行目に「なお書き」があるのですが、将来の廃棄物処理施設のあり方につきましては、人口及びごみの量の減少が予想される中、今後も継続して検討していくべき課題と考えております。

あわせて広域連合による広域化につきましても、選択肢の一つとして検討していく必要があるものと考えておりますので、今後、西いぶり広域連合から更なる提案があった場合については、その時点において、あらためて協議を行うこととしております。

また、各委員からの意見ですが、

今後、市庁舎の建て替えなど、大きなテーマについては、市民自治推進委員会を必ず通すというように決めていただきたいとの意見がありました。

市が気付かないこともあるので、そのようなことがあれば市民自治推進委員会からお知らせいただきたいと話をしました。

部会長・副部会長会議の概要は以上になりますので、部会長に引き継ぎたいと思いますが、部会長と副部会長も会議に出席されていたので、補足等があればよろしくお願ひします。

【部会長】

防災・環境部会では、10月～11月末にかけて連合町内会に依頼し、避難訓練のデータを収集し、それを共有していくという話をしました。

データの収集はどのように行いますか。

【事務局】

自治推進委員会から連合町内会へ依頼することになると思います。

【部会長】

登別市総合防災訓練は9月30日開催でしたよね。雨天でも行いますか。

【庁内委員】

多少の天候不良でしたら開催します。天候がひどい場合は10月14日に開催します。

【事務局】

防災・環境部会の方も参加できるのであればお願いします。

【部会長】

当部会としてもどのような訓練か把握しておく必要がありますね。

防災訓練は2年に1回開催されますが、開催しない年も全体的に市の行事として何か取り組みをするべきだと思います。

【事務局】

防災・環境部会の取り組みとして、ウォーキングマップを利用した避難場所の確認と各地区連で行っている避難訓練のデータ収集を行うとの話がありました。ウォーキングマップの方は都市調和部会で話を進めているので、完成次第の実施となりますが、避難訓練のデータはどのようなデータをもらったらいでしょうか。

【部会長】

マップ作成の進捗状況はどうですか。

【事務局】

先日、仮のものですがこのようなマップはできました。

～仮マップ配布～

印刷業者が作成したものに、社会教育グループで高台避難所を入れてもらいました。前回、ガソリンスタンドやコンビニ店舗等を載せる話もありましたが、載せ方の基準も統一しなければならないとの話が出ています。

曲がり角にもわかりやすい建物を載せることも考えています。現在のマップは三地区（登別地区、幌別地区、鷺別地区）ありますが、三地区を一枚のマップにまとめることはできないかという話もしています。あと、高台避難ビルもあるのですが、それもマップに載せてしまうと見づらいマップになってしまうので難しいという話をしていました。

【庁内委員】

高台避難ビルは逃げ遅れた時に避難する建物なので、マップに載せなくてもいいと思います。

日頃から、避難場所を頭に入れておいたほうがいいですね。

【部会長】

災害は、必ずしも自分の家の近所で起こるとは限らないので、その時のためには全市的な避難場所を載せるといいですよ。

【事務局】

そのように載せる予定です。二次元コードを利用し、情報を載せることも考えています。

【部会員】

若い世代の人は二次元コードで確認できると思いますが、年配の人は難しいですよ。

【事務局】

確認できないと思うので、重要な情報を載せるのではなく、補足内容を載せようと思っております。

ある程度完成しましたら、市役所内部で協議する予定です。あと、踏切の場所もマップに記載する予定です。

【部会長】

マップに情報が入りすぎても見づらいマップになってしまいますよね。

【事務局】

そうですね。本来のマップのコースがわかりづらくなってしまいますので、考慮しなければならないです。

マップは今年度中には完成する見込みでいますが、実際にマップを活用して歩くのは雪溶けてからになってしまいます。

避難訓練の話ですが、どのような項目を集めデータを取っていきますか。

【事務局】

今回は、人数、場所、時間などの意見が出ました。

【庁内委員】

いつ、どんな災害を想定し、どこに集めて、どのように避難をしたのか、炊き出し訓練を行ったのか、などの報告を受ければ各町内会の特色も出てくると思います。

【部会員】

どのように呼びかけて、人を集めることができたのかという情報もあるといいです。

【庁内委員】

そうですね。役員しか参加しない町内会があって、役員以外の人が多く参加している町内会があれば、その町内会の周知方法は有効に使うことができますね。

しかし、情報を集めるための報告用紙などを町内会で作成するのは大変です。

【部会長】

そうですね。私たちの年代になりますと、パソコンの使い方がわからない人がたくさんいると思いますので難しいと思います。

【事務局】

事務局で皆さんの意見を基にアンケート形式で用紙を作成し、部会の皆さんに確認してもらおうという形でいかがですか。

【部会長】

できれば今年中にデータを集めたいですね。

【事務局】

今週の土曜日に、富岸の地区連と青葉の地区連、富岸小学校、青葉小学校、緑陽中学校合同で避難訓練が開催されるみたいです。

町内会同士ではなく、他の組織と連携して行うのもいいですね。民間企業と連携して訓練を行っている町内会もあるかもしれません。

【部会長】

各場所によって環境が違いますので、データを収集することで、さまざまなことが

発見できますし、来年の参考になると思います。

【事務局】

次回までに、事務局で避難訓練のアンケート形式の用紙を作成し、次回の部会で作成した用紙について協議を進めていきたいと思っています。

【次回の取組内容】

避難訓練のアンケート用紙についての協議

【次回開催日】

9月22日（金）18時から